

ベナン月報(2014年7月)

主な出来事

【内政】

● 司法官のストライキ禁止法案につき、10日、17日及び24日、UNAMAB は、3回にわたりデモ行進を実施し、国民議会前で同法案取下げ要求書を提出しようとしたが、国民議会事務局は、同要求書の受領を拒否した。

【外政】

● 15日及び16日、コロマ・シエラレオネ大統領がベナンを来訪した。

【経済】

● 28日から31日、「後発開発途上国の生産能力強化に向けた新たなパートナーシップに関する閣僚会合」がコトヌにおいて開催された。

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、La Nouvelle Tribune 紙及び L'Autre Quotidien 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 6月20日、国民議会において、司法官のストライキを禁止する法案が提出され、これに対し、ベナン司法官全国同盟(UNAMAB: Union Nationale des Magistrats du Bénin)及び市民社会が憲法違反であるとして、同法案の取下げを要求していた件について、10日、17日及び24日、UNAMABは、3回にわたりデモ行進を実施し、国民議会前で同法案取下げ要求書を提出しようとしたが、国民議会事務局は、同要求書の受領を拒否した。同法案の提出の背景には、頻発する司法官のストライキのために、裁判が進行せず、判決を待つ未決勾留者が長期にわたり不必要に勾留されているという事実があり、未決勾留者の人権保護の観点から問題になっている。同問題については、国民議会立法委員会が審議を却下したが、議員の賛成多数により本会議で審議されることが決定した(7日、11日、18日、L'Événement Précis紙)。
- ・ 2日、国家選挙管理委員会の5人の委員が選出された(4日、Le Matinal紙)。
- ・ 4日、死刑廃止に関するアフリカ閣僚会議がコトヌで開催され、アゴス(M.Valentin Djènotin AGOSSOU)法務相や、バコ(M.Nassirou BAKO-AROFARI)外相が出席した(7日、La Nation紙)。
- ・ 4日、コトヌにおいて、ベナン及びトーゴの国境に跨がるモノ水域の管理に関するベナン・トーゴ二国間閣僚級協議会が開催された。同水域は、合計24,300平方キロメートル(うち、トーゴ21,300平方キロメートル、ベナン300平方キロメートル)の面積を有し、かかる協議会では、同水域を適切に管理していく必要性について合意された(7日、Le Matinal紙)。
- ・ 5日、ボイコンにおいて、バイク強盗や店舗強盗を複数回繰り返していたとして、6人の窃盗団が逮捕された(10日、La Nation紙)。
- ・ 9日、トーゴ国境ヒラコジからナイジェリア国境に向けて走行していた車が、グランポポにおい

て強盗に遭い、同車の乗客から60万ガーナセディ(日本円にして約1,800万円)が盗まれた(10日, L' Autre Quotidien紙)。

- ・ 15日, パスポートや出生証明書の偽造を行っていたとして, ナイジェリア人, ブルキナファソ人, ギニア人等複数の国籍からなら犯罪グループが逮捕された(16日, Le Matinal紙)。
- ・ 22日, ヤイ大統領は, イタリアのNGO・Alliance Ne touchez pas à Cainが主催する「2014年の死刑廃止論者」に選ばれた(23日, La Nation紙)。
- ・ 24日, ガーナ籍の船がコトヌ沖で座礁し, 石油が流出した(25日, La Nation紙)。
- ・ 同日, ボイコンにおいて, Babaguidaと呼ばれる強盗グループが逮捕された。同強盗グループは, ナイジェリア人国籍のプル族男性が首領を努めており, 同人はナイジェリア及びベナン両国の治安当局に以前からマークされていた由。同グループの数人は, 数日前にナイジェリアの刑務所を出所したばかりであった(25日, La Nation紙)。
- ・ 同日, 幼少・初等教員らが, 幼少・初等教育省から長期にわたり給与を支払われていない旨抗議し, 座り込みを実施した。最も長期にわたる場合では, 給与の未払い期間は7年に上り, 座り込みを実施した同教員らは, 給与の未払いによる生活苦を理由に自殺した者もいる旨訴えた(25日, La Nation紙)。
- ・ 26日, 公共セクターにおける4,234人の嘱託職員募集にかかる採用試験において, 試験問題用紙の不足等様々な問題が生じ, かかる試験は中止された(29日, le Matinal紙)。
- ・ 27日, 長期にわたり建設が中断されている新国民議会議事堂建設計画に関し, ヤイ大統領がソスウント(M.Christian SOSSOUHOUNTO)都市計画・住宅・衛生大臣と意見交換を行った。近く, 本計画に関する監査報告結果が明らかになる由(29日, La Nation紙)。
- ・ 30日, Assad CHAGOURY駐ベナン・レバノン総領事がトーゴ・ロメで殺害された(31日, le Matinal紙)。

【外政】

- ・ 15日及び16日, コロマ(M.Ernest Bai KOROMA)シエラレオネ大統領がベナンを来訪した(16日, La Nouvelle Tribune紙)。
- ・ 28日から31日, 「後発開発途上国の生産能力強化に向けた新たなパートナーシップに関する閣僚会合」に出席する目的で, ズマ(Mme Nkosazana Dlamini-ZUMA)AU委員会委員長やマルディエイエ(M.Abdoulaye MAR DIEYE)UNDPアフリカ代表が, ベナンを訪問し, ヤイ大統領と会談した(25日, La Nation紙)。

【経済】

- ・ 3日, 国際NGOハンディキャップ・インターナショナルが, コトヌにおいて, 障がい者の地方行政参加促進に関するワークショップを開催した(4日, Le Matinal紙)。
- ・ 4日, ベナン国際銀行が, 輸出入業社向けのセミナーを開催し, 事業者らがより円滑に輸出入手続きを行えるよう説明を行った(7日, La Nation紙)。

- ・ 9日、パラクにおいて、ベナン在住ナイジェリア人の社会統合促進を目的としたワークショップが開催された。同ワークショップでは、ベナン在住ナイジェリア人が、病院で受診する際や、警察に拘束された際等様々な場面で差別を受けている事実が共有された(11日, La Nation紙)。
- ・ 10日、産業・商業・中小企業省が外国企業による対ベナン投資のための保護・促進にかかるワークショップを開催した。アザリア・ウインウイ(Mme Naomie AZARIA HOUNHOU)産業相は、法人設立時の手続きの簡素化や知的財産権の保護等各制度の拡充に努めていく所存である旨述べた(11日, La Nation紙)。
- ・ 同日、NGO・Care Benin/Togoが複数のコミュニオンにおいて、43基の井戸と保健センターを2施設建設し、引渡式が実施された(11日, Le Matinal紙)。
- ・ 23日、国民議会議員がナゴ議長に対し、ボルグ県において約8,000トンのモロコシが、生産者と買い手の間で価格の折り合いがつかず、放置されたままになっている旨訴えた。同生産者らは、食糧安全保障公団(ONASA)やボルグ・アリボリ県庁、WFP等に購入を求めているが、価格の折り合いがつかない由(24日, L' Autre Quotidien紙)。
- ・ 28日から31日、「後発開発途上国の生産能力強化に向けた新たなパートナーシップに関する閣僚会合」がコトヌにおいて開催された(29日, La Nation紙)。
- ・ 24日、イスラム教系NGO・La Jama' at islamique Ahamadiyya au Béninがラマダン中の喜捨として、ベナン中央国立病院(CNHU)に、約2,500万FCFA分の食糧等を供与した(25日, La Nation紙)。
- ・ 24日、WHO, UNICEF, GAVIアライアンス等の支援を受けて、保健省がワクチンのロジスティック・チェーンを整備し、引渡式が実施された。支援総額は、2億1千万FCFAに上る(25日, La Nation紙)。

(了)